

2024(令和6)年度  
事業所評価結果

- 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の結果
- 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

2025(令和7)年2月25日

一般社団法人 虹色  
こどもデイサービス夢色 三佐事業所

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の結果

〈こどもデイサービス夢色 三佐事業所〉

配布数： 7  
回収数： 5 (71.4%)

評価期間： 2025年 1月 14日～ 1月 31日

検討日： 2025年 2月 17日～ 2月 22日

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	ご意見	「ご意見」を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	2	0	0		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1	0	0		
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	0		
適切 な 支 援 の 内 容	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	5	0	0	0		
	⑤ 活動プログラムが固定化されないように工夫されているか	5	0	0	0	手先や足を使ったり、力加減を考えたりしながら楽しんで活動に取り組めるように毎回工夫しながら企画されていると思います。	引き続き、子どもたちの特性に応じた活動を実施していきたいと思いをします。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害がない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	0	0	0		
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1	0	0		
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	1	0		
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	0		
	⑫ 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	0		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	0	0		
⑭ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	0			
非 常 時 等 の 対 応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1	0	0		
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	0	0		
満 足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	4	1	0	0		
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0	日頃よりデいの先生方には本人の特性をよく理解して対応して頂いています。「順番」や「待つ」など集団での社会のルールを学びながら異年齢の他のお子さんと交流する機会をえることができとても有難く思っています。今後も利用を継続させていただきたいと思いをします。	社会参加を想定し、いろいろな人と関わりながらルールやマナーを学び、コミュニケーションスキルと社会性を身につけていってほしいと考えています。引き続き、そのような場面設定をしながら支援していきます。

その他のご意見・ご要望

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

〈こどもデイサービス夢色 三佐事業所〉

スタッフ数： 5

スタッフ評価： 2025年 1月 14日～ 1月 31日

全体評価： 2025年 2月 17日～ 2月 22日

	チェック項目	どちらともいえない			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
		はい	いいえ	いいえ			
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	0			
	② 職員の配置数は適切であるか	2	1	0	体調不良等による職員の急な欠勤によって人員が不足する場合には、法人内の他事業所・他部門と連携して対応している。		
	③ 事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	事業所内は基本的にバリアフリー構造であるが、ケガ等を防止するためのフロアマットの厚みによる段差があるので職員が留意している。		
業務改善	④ 業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2	0			
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2	1	保護者向け評価表を使用し、紙面だけでなく、スマホ等からWeb上でも回答できるようにしている。		
	⑥ この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	4	1	0	来訪者が閲覧可能な事業所の玄関に掲示するとともに、ホームページに掲載している。		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	3			
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	2	2	業務に差し支えない範囲で外部研修に参加するようにしており、オンライン研修にも参加できるよう通信環境や機器を整えている。	パート職員を含めた全職員が同時に研修を受講することが難しいので、内容によっては動画視聴等の方法により個人単位で学習できるようなコンテンツを作成中である。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2	0	日頃の記録から子どもの肯定的側面と否定的側面を抽出し、子どもの課題を多面的に捉えるよう心がけている。		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	1			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	2	活動プログラムの立案はその日の担当者個別に行っているが、行事等の立案はチームで行っている。	ミーティング等で活動内容や実施方法等についてフィードバックを行い、次回以降に活かしていく。	
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2	0	子どもの心身の状態や能力等に応じ、日々創意工夫しながら、常に新しいプログラムを取り入れている。	新しいプログラムの導入時には、職員間でシミュレーションをしたりして、事前に工程や難易度の確認を行う。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	1	4	0	長期休暇時には、通常時に対応する機会が少ない食事や口腔衛生、学習課題等に対して集中的に取り組んでいる。	平日は時間的に屋外に出て活動することが難しいので、土曜日や長期休暇時に子どもの様子や天候等の状況に応じて屋外活動を取り入れていく。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	4	0	コミュニケーションや社会性に関する課題については集団活動や自由遊びで、日常生活や学習等に関する課題については個別に対応するよう計画を作成している。		
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	必ず始業ミーティングを行い、前営業日の振り返りを行うとともに、その日の役割分担や留意事項等について確認している。		
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	必ず終業ミーティングを行い、その日の子どもの状況を確認し、課題等については次回以降の支援内容や方法を検討している。	終業ミーティングに参加できない職員には、翌日の始業ミーティングの際に伝達する。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	記録漏れや記載ミス等がないよう、記録者とは別の者が二重チェックをするようにしている。また、日々の記録から子どもの肯定的側面と否定的側面を抽出し、確認している。		
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0	モニタリング時期に過去の記録からトピックを拾い上げ、計画の見直しに反映させている。		
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	1	4	0			
	関係機関や保護	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	基本的には児童発達支援管理責任者が参画している。児童発達支援管理責任者が参画できないときは児童指導員が代理で参画する。	やむを得ず誰も参画できない場合は、児童発達支援管理責任者が子どもの状況や課題を記載した書面を作成し、相談支援事業所に提供している。
		㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	年間・月間の行事予定や下校時刻等については、学校からの配布文書・メール・ホームページ等で随時確認している。また、学校の先生とは送迎時に様々な情報を共有している。	
㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	3	0	医療的ケアが必要な子どもがいないため、現状ではそのような体制はないが、必要があれば保護者を通じて連絡をとるようにしている。		
㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	3	0	機会があれば、就学前のサービス担当者会議等に参加し、就学前に利用していた事業所等から情報を得ている。		
㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	1	0	卒業前に移行支援会議等が行われる場合には、児童発達支援管理責任者が出席し、それまでの事業所での様子や課題などの情報を提供している。		

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

	チェック項目	どちらともいえない			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ	いいえ		
事業者との連携	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	2	法人内に発達支援の経験のある専門職（作業療法士等）がいるので、特に外部からの助言は受けていない。研修については、機会があれば受講している。	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5		
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	3		
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	常日頃、送迎時等に子どもの状況を保護者に伝えるようにしている。送迎時に保護者に会わない場合は、電話・メール・LINE等で情報のやり取りをしている。	
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	2	3	保護者に対する特別な支援（プログラム）は実施していないが、必要に応じて助言等は行っている。	
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	利用契約時に対面で書面をもって説明している。利用者負担の変更等があった場合には、その都度、書面を発行し、確認してもらっている。	
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	相談があった場合には適切に対応し、必要に応じて関係機関等を紹介している。	
	㉜ 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	4		
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情受付体制については、利用契約時に重要事項説明書において説明している。苦情等があった場合には、事実関係の確認を行ったうえで適切に対応している。	
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2	2	会報等はないが、公式LINEアカウントにて感染症の発生状況や荒天時の営業情報など様々な情報を随時発信している。	
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0		
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	子どもが意思疎通しやすい職員が対応するなどの配慮をしている。送迎時に会わない保護者とは、電話・メール・LINE等で情報を共有している。	
	㊲ 事業所等の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を行っているか	1	1	3		
非常時等の対応	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3	0	職員には事業所内掲示等で周知しているが、保護者には周知できていない。	各種マニュアルを電子化し、Web上で閲覧できるようにする。
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	3	0	屋外活動時に避難経路・避難場所の確認を行っている。非常災害時に事業所内に留まざるを得ない状況を想定し、長期保存水や非常食を購入し、保管している。	
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	0	虐待防止に関する研修会には積極的に参加し、また啓発資料等を事業所内に掲示している。	県主催の研修会等は参加人数が制限されることが多いので、法人内参加者からの伝達講習や動画視聴によるオンデマンド受講等の対応をとる。
	㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもも保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	0	常時の身体拘束が必要となるような子どもが現在はいないが、身体拘束マニュアルにしたがって対応することを基本としている。	
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	事前に保護者から情報を収集し、その内容により必要があれば保護者を通じて医師等から指示をもらうようにしている。	
㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	子どもの問題行動を含む特異な事象を日々の記録から抽出するとともに、ヒヤリハット報告書を作成し、月単位で集計・分析している。		

その他の意見など